

公共交通を保持していくための取組状況（南部・北部）

都市安全部 交通政策課

1 宝塚市地域公共交通計画について

本市では、令和5年度に「宝塚市地域公共交通計画」を策定し、本計画における公共交通の整備方針に基づき、買い物や通院等の日常生活に必要な活動が実現できる移動手段を確保することを目指し、市民、事業者、行政が連携し、それぞれの役割を認識し、公共交通の維持・確保に向け、以下のような取組みを実施している。

(1) 南部地域における公共交通サービスの維持・確保に向けた取組について

南部地域では、仁川及び売布山手住宅地域のバス路線（仁川・売布循環線）、月見山・長寿ガ丘地区のバス路線（ランランバス）の運行を支援している。また、沿線地域の自治会とは、路線バスの現状について共有を行い、利用促進を図るとともに、運行事業者とも連携し、路線バスの維持、確保に向けた取組を行っている。

また、昨年度には、公共交通の抱える課題解決を図るとともに、新たな運行形態のあり方を探るため、市内の3つの地域で移動手段の確保に向けた実証実験を行った。

(2) 北部地域における公共交通サービスの維持・確保に向けた取組について

北部地域では、阪急バス武田尾線が来年3月末をもって廃止されることから、本地域で交通空白が生じることのないよう、国の補助金を活用した新たな移動手段導入にかかる試験運行を、来年度下半期に実施する予定である。

公募型プロポーザル方式で事業者を決定した後に、地域の方々や、国をはじめとした関係機関とも連携しながら運行計画を策定し、試験運行を実施する。その結果を踏まえ、来年4月から地域の実情に即した新たな移動手段として本格運行を目指す。

(3) モビリティマネジメントの実施

バス停の配置及び運行路線などの情報をまとめた「えきバスまっぷ。」やバスの乗り方や運賃制度、お得なバスの利用方法を分かりやすく案内する「阪急バスのノリセツ」を市内の公共施設で配布することで、その利便性や快適性を知ってもらい、日常の移動手段としての公共交通の利用促進を行っている。

また、希望する市内の小中学校に対して、子どもたち一人ひとりが自分の移動について考える機会を作るため、地域を走る路線バスの仕組みやバスの乗り方教室を行うなどモビリティマネジメント教育を実施している。

(4) 運転手不足解消に向けた取組について

全国的にも路線バス及びタクシーの運転手不足が課題となっていることから、今年度より、本市と芦屋市、西宮市、ハローワーク西宮が連携して、合同での会社説明会及び就職相談会を実施した。バス運転者就職相談フェアでは、7名の方が参加し1名の方が就職し、また、タクシー運転者会社説明就職相談会では、20名の方が参加し2名の方が就職に至った。来年度も引き続き、関係機関と連携して実施していく。